

白扇閣における腰補助用 マッスルスーツ導入の効果

導入から2カ月経過後の介護職員へのヒアリング結果より

特別養護老人ホーム白扇閣
施設長 久保田和宏

施設概要

社会福祉法人清承会 特別養護老人ホーム白扇閣
(所在地) 静岡市清水区承元寺町1341

- ◎昭和54年開設
- ◎長期入所190名、ショートステイ20名
デイサービス30名
ヘルパーステーション、居宅介護支援事業所
地域包括支援センター併設
- ◎同一法人にて養護老人ホーム清水松風荘運営
- ◎職員166名
- ◎介護福祉士実務者研修養成施設の指定申請中

<取り組んだ課題>

厚労省

「職場における腰痛予防対策指針の改訂及びその普及に関する検討
会報告」

- ◎平成23年に4日以上休業を要する腰痛は職業性疾病の6割。
- ◎業種別では、社会福祉施設がトップの約19%。
- ◎社会福祉施設における腰痛発生状況の分析では、入浴介護時の
移乗中に最も発生。

社会福祉振興・試験センター

「平成24年度社会福祉士・介護福祉士就労状況調査」
◎過去働いていた職場を辞めた理由、腰痛が14.3%。

以上の事から、

「腰痛予防及び業務の身体負担を軽減することにより
職員の処遇改善を行いたい。」

<具体的な取組>

介護ロボット等導入支援特別事業を利用。
腰補助用マッスルスーツを導入し効果を検証。

<倫理的配慮>

ご利用者及び保証人に、使用と発表につい
て、十分な説明と同意。本人特定されないよ
う配慮。

使用中は、ご利用者の状態を良く観察、把
握し、支障があれば中止。

マッスルスーツ

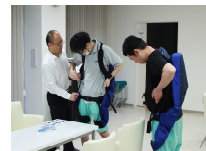


人工筋肉

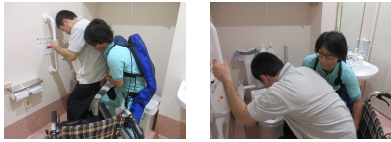


(カバーを外した写真)

マッスルスーツ使用研修



車いすからの移乗介助に使用



入浴介助に使用



活動の成果と評価①

①介助作業による腰の負担

(非常に増した0% 増した0% やや増した0% 変わらない0%
やや軽減した43% 軽減した57% 非常に軽減した0%)

②介助作業後の疲労感

(非常に増した0% 増した0% やや増した28% 変わらない14%
やや軽減した44% 軽減した14% 非常に軽減した0%)

③介助作業時の足腰のふらつき

(非常に増した0% 増した0% やや増した28% 変わらない28%
やや軽減した44% 軽減した0% 非常に軽減した0%)

活動の成果と評価②

④介助作業による腕の負担

(非常に増した0% 増した0% やや増した28% 変わらない28%
やや軽減した28% 軽減した16% 非常に軽減した0%)

⑤介助作業による膝の負担

(非常に増した0% 増した0% やや増した16% 変わらない28%
やや軽減した28% 軽減した28% 非常に軽減した0%)

主な感想

- ・腰などへの負担は軽減された。
- ・腰の負担が少なく、力もさほど入れずに介助できるよう感じたが、慣れないので着脱に時間がかかる。
- ・簡単に着脱できるよう改善できたらいい。
- ・見た目が目立ってしまうので、目立たないスーツに改善できたらいい。
- ・使用する職員を一人にして着脱の時間を減せば効果は大きい。

総括

マッスルスーツ装着後の腰の負担は軽減されている。装着時の手間が少し負担になっている。装着する職員が同じ業務を一定時間おこなうなど、今後の運用方法を検討したい。

今後の課題

今回は導入後2カ月であったので、今後、継続して検証を行っていく。